

「新年のご挨拶」



公益財団法人

特攻隊戦没者慰霊顕彰会

理事長 藤田 幸生

新年、明けましておめでとうござい
ます。

今年、我が国の長い歴史上で、新しい
年号で呼ばれる年になりました。

このような形で、新年を迎えるのは、歴
史上でも、初めてのことでないでし
ょうか？

わが国において、この過去七十三年の
間は、戦争はありませんでした。文字通
り「平成の時代三十年間」は、平和な時
代として、歴史上に刻まれることにな
りましょう。それは、極めて稀有なこ
とで

あり、日本の国内も、周りの環境も、そ
れを許してくれたからに外なりません。
感謝です。このことは、見方によれば、
国民皆の努力によって、勝ち取った『平
和平成』な時代であったと言えるのかも
知れません。

しかし、私は、この時代を生きてきた
日本国民の一人として、自分たちだけ
力で得られた「平和平成」な時代であ
つたとは、思えません。

勿論、この時代を生きた国民の力・・・
政治、経済、外交、生産、学問、技術等・・・
あらゆる方面の営みの他、防衛、国を守
る「自衛隊の存在」やいわゆる「平和憲
法の存在」があったからと、言えるかも
知れません。

しかし、その実現には、過去の先人達の、
「目に見えない、隠れた、多くの努力の
継続が在ったこと」を、忘れてはなら
ないと、思うのです。

その一つが、先の戦の末期近くで、「特
攻隊で命を捧げてくれた、年若い先人達
の為にしてくれた行為、努力」の存在であ
ります。

私達（公財）特攻隊戦没者慰霊顕彰会は、
そのことを、後世の人びとに、確実に伝

えていくという重要な御役目を持つてい
ると、自覚しています。

新年に当たり、皆様とともに、新しい
時代の幕開けを祝い、この決意を新たに
胸に刻み、本会の活動を続けてまいりた
いと、念願しております。

「平成の時代」とは、決別しますが、新
しい時代もまた、平和で平穏な時代であ
りますようにと、祈願したいと思います。

戦没特攻隊員への「弔意」「謝意」、
我が「決意」を持つて、みんなで頑張り
ましょう。どうか、宜しくお願い申し
上げます。

「新年によせて」



(特攻隊戦没慰霊顕彰会会員)
茶道裏千家大宗匠 千 玄室

新年明けましておめでとうございます。平成の御代最後の年を、めでたくお迎えの事と存じます。私にとりましても八回目の干支が巡って参りました。

昨年四月に特攻観音堂におきまして、陸軍海軍の特攻出撃なさった英霊に、それぞれ一碗をお捧げ致しましたことは私にとりましても意義深いものであります。また、各地の護国神社に「特攻勇士之像」を建立されていることを伺いまして

から、出張の折には拝しに参っております。このように知らしめて頂ける事は先に散華した仲間を思うとき心が安らぎます。

特攻という事実がだんだんと日本人の記憶から薄れていくことは非常に悲しい事であり、日本の今の繁栄の礎となった方々が忘れ去られようとしておりますことは慚愧の念に堪えません。海外だけでは無く日本においても特攻がイスラムの自爆テロと同一視される事があるのは本当に悲しいことです。特攻は戦争の中で行われた事であり無差別に攻撃したものではありません。特攻することにより国を守り愛する家族を守ろうとしたのですから。この会を維持なさっていらつ

しやるのは、もと自衛官の方が多いと伺っております。国を守るといふ責務の重大さをご承知の方々でしょう。ここところ世界はめまぐるしく動いております。トランプ大統領がかき回しているように言われますが、それだけでは無く世界中に閉塞感があるのでは無いでしょうか。

それぞれの国が覇権を競いながらも、施政者自身も何を頼りにすれば良いのか手探りしている感があり、ましてや一般

人にしてみればこの先何処に行き着くのか不安なのでしよう。

各地域で起こっている紛争は終わりが見えない状態に陥り、少しでも安全を確保したい人々が難民となり移動をしていますが安住の地には中々辿りつけていません。世の中がどんどん複雑化してしまっています。何故もつとシンプルに考えられないのであろうかと思うのです。常にも他の人の気持ちを考えその人格を尊重し互いに一歩後ろに下がる、これだけでどれほど衝突が無くなるでしょう。

平和、平和と言いつい何か大きな事をなそうとしなくても、お一人お一人が今の暮らしを丁寧生きることで世の中は変わると思います。

肩を寄せ合い家族が睦まじく生活していた昭和という時代が歴史の中に埋もれていくようであり、ましてや第二次世界大戦Ⅱ太平洋戦争が段々と実感を伴わないものとなる中で、貴会がその事実を後世に語り継がれていく事は本当に意義深いものだと思います。

これからもますますのご活動を祈念致します。新年の言葉と致します。

「新年のご挨拶」



靖國神社 宮司 山口 建史

明けましておめでとうございます。

平成三十一年を迎えるにあたり、新春のお慶びを申し上げますとともに、皇室の弥栄、そして皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。また、特攻隊戦没者慰霊顕彰会の皆様には日頃より当神社に対し格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年は今上陛下のご即位三十年、五月一日には、新帝陛下がご即位あそばされ、我が国にとって極めて大切な時期となります。我々国民は、平成の御代をかえりみ、陛下のご事績に想いを致し、挙つてお祝い申し上げたいと存じます。

靖國神社にとりましても、明治二年のご創建以来百五十年という大きな節目の年を迎えました。現在、皆様のご浄財を以つて行われております御創立百五十年記念事業は、「未来へつなぐ 靖國の心」の標語のもと、ご遺族・崇敬者各位のご支援をいただき、本年完遂の予定となっております。特に、本年六月、外苑にいないプロジェクトとして竣工予定の「さくら型陶板」は、ご祭神の故郷である各都道府県の土を使用し、著名な陶工により各地の窯で靖國神社の象徴でもある桜をモチーフとした陶板を慰霊顕彰を目的として製作するものです。家族を思いながら戦歿されたご祭神にとつても、生まれ育った故郷の土がこの靖國神社に存することは大変意義深いものと考えております。

戦争体験者や御祭神を直接知るご遺族が減少する中、当神社を取り巻く環境は厳しさを増し、国内外にも憂慮される事柄が山積しております。明治天皇様の思召しにより創建された靖國神社は、国家のために尊い一命を捧げられた人々の霊を神としてお祀り申し上げ、その事績を後世に伝えるという理念を踏まえ、職員一同、次の五十年後、百年後の神社を

考え進むべき方向を見定めていきたいと思ひます。

また、特攻隊戦没者慰霊顕彰会様の活動におかれましても、去る平成十九年から開始された全国五十二の護國神社に対する「あゝ特攻勇士之像」の奉納事業が十六の護國神社をはじめ、十八体の像が建立された旨を拝承し、本事業が完遂されることを祈念いたします。大東亜戦争終戦より七十四年が経過しようとする中、今日の我が国の繁栄を築き上げた先人たちへの感謝の心を後世に語り継がなければなりません。

結びにあたり、引き続き皆様のご支援、ご教導を賜りますようお願い申し上げます。今年一年が皆様方にとりまして実り多き良き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

「新年のぐ」挨拶」



東京都世田谷区長 保坂展人

新年明けましておめでとうございます。皆様にはすこやかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平成最後の春を迎えました。小淵総理大臣が「新元号は平成です」と色紙を見せたテレビのシーンを昨日のことのように思い出します。平成が始まった時、わが国はまだまだバブル経済の熱気さめやらない頃でした。以来、失われた20年と呼ばれる経済の低迷、阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめとする幾多の大災害に次々に見舞われながらも、わが国は世界をリードしながら新しい時代を切り拓いてきました。本まもなく、新しい元号が決まります。

年が名実ともに新しい時代の幕開けとなり、輝かしい未来のページを開く年となることを願ってやみません。

いよいよ、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会が1年後と迫ってまいりました。世田谷区では馬事公苑が馬術競技の会場になるとともに、区立大蔵運動場、大蔵第二運動場がアメリカ合衆国選手団のキャンプ地になります。これらをきっかけに、外国人観光客が世田谷区にも多く訪れることでしよう。四季に恵まれ、かけがえない自然に囲まれた美しい日本の姿を世界の方々に楽しんでいただくとともに、身近な地域で多様な交流が花開くことを期待したいと思います。

私たちの世代にとって55年前の1964年の東京オリンピックが鮮明な記憶となつて残っています。戦後、驚異的な復興を遂げたわが国が世界にその勇姿を見せたまさに「世紀のイベント」でした。先日、区内の駒沢公園にある東京オリンピックメモリアルギャラリーを訪れる機会がありました。展示されている東洋の魔女の写真やユニフォームをはじめとする貴重な映像などから当時の熱気や情熱が伝わってきます。日本中が心をひとつにした「平和の祭典」を追体験することができました。そして、あの感動を再び東京で味わえることへの期待が一層大きく膨らみました。ぜひ、皆様とともに盛り上げ、さらに将来に向けてたくさんの方々のレガシーを残したいと考えております。

さて、昨年も第67回の年次法要に参列させていただきました。終戦から間もない昭和26年に睦賢和尚が独力で建立された美しい世田谷山観音寺で執り行われる年次法要は、私にとって改めて命と平和の尊さに思いを馳せ、先の大戦の犠牲となられた方々に祈りを捧げる貴重な機会となっております。

昨年もご挨拶の機会をいただき、南の海に散っていった若い兵士と、世田谷から学童疎開していた少女少女との淡い交流を紹介させていただきました。その上で「一人ひとりの貴重な声や経験を繰り返し伝えることこそが、間違いなく世代を超えて語り継がれることにつながると信じて疑いません。」と述べさせていただきました。

わが国は戦後70年以上に渡り世界中のどの国とも1度も戦火を交えることなく、平和の歴史を積み重ねてまいりました。これも平和の礎となった多くの命と、決して戦争の悲惨さを忘れずに、歴史の教訓を後世に伝えてきた先人の努力あってこそのことと存じます。今、世代交代が進み平和の尊さを伝えていくことがますます重要になっています。私たちが経験した、あるいは親や先輩から語り継がれた平和への思いを皆様とともに若い世代にしっかりと伝えてまいりたいと存じます。

新たな年が皆様にとってすばらしい年となることをお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

「新年にあたり」

(特攻隊戦没慰霊顕彰会会員)

外務副大臣 参議院議員 佐藤正久

皆さま、明けましておめでとうございませう。昨年も皆様のご支援のおかげで、充実した国会活動を展開することが出来ました。

一昨年八月に外務副大臣を拝命してから、これまで四〇カ国以上を訪問し、外交・安全保障の最前線で仕事をして参りました。年頭にあたり、北東アジアの安全保障環境について考えてみたいと思います。

冷戦後、NATO加盟国が東方に拡大したことより、ロシアはソ連時代の緩衝国家を失ってしまいました。しかし、プーチン大統領の時代に入り、ロシアは、東欧や中東地域に影響力の拡大を図っています。

極東方面でも国後島と択捉島に對艦ミサイルを配備し、カムチャツカ半島にボレイ級原子力潜水艦を二隻配備し、オホーツク海での活動を確保するため沿岸防衛戦力を高めています。

プーチン大統領は、昨年三月一日の年次教書演説で大陸間弾道ミサイルや超音速飛翔滑空兵器などを発表し、軍事的な対抗意識を燃やしています。昨年三月一八日のロシア大統領選挙では、プーチン氏が再選されましたが、健康であればさらに続投することもありそうです。

中国の習近平主席は、一昨年十月に開催した中国共産党第十九回全国代表大会の報告で、二〇三五年までに軍隊・国防の現代化を実現し、今世紀中葉までに人民解放軍を世界一流の軍隊にするとの目標を明らかにしました。

中国は複数の空母打撃群の早期運用を目指しており、昨年五月には、中国初の国産空母が大連から出港し、初の試験航行を行いました。

習近平国家主席は、国家主席の任期を撤廃する憲法改正により、長期政権を可能にしました。「中華民族復興の夢」として、経済と軍事の両面から全世界的に影響力拡大を図っています。

金正恩委員長は、平昌五輪で微笑み外交を展開し、六月十二日にはトランプ大統領との会談を実現しました。しかし、非核化や大量破壊兵器の破棄について具体的な計画は未定のままで、脅威が無くなった訳ではありません。

米政府は、非核化を巡る北朝鮮との合意には時間がかかる可能性があるとの見方を示しています。金正恩委員長は、国際社会から体制を保証され、健康であれば、今後三十年あまり北朝鮮の独裁者として君臨することが可能で、選挙で政権が変わる民主主義国家とは時間軸が異なります。

ロシア、中国、北朝鮮の指導者は、中長期的に国の舵取りを行う見込みが高く、日

本を取り巻く安全保障環境も厳しい状況が続くことが予想されます。

大東亜戦争では三三〇万人の日本人が亡くなり、約八千人が特攻により散華されました。しかし、かつて戦った米国とは、今や「自由で開かれたインド太平洋戦略」という共通の価値観で協働する関係となりました。

これも国難に殉じられた英霊の築かれた礎の上にあり、昨年の八月十五日、私は靖国神社を参拝し、英霊達に思いを致し、感謝の誠を捧げました。

外交と防衛は安全保障の両輪です。今年も心新たに国の安寧と国民の幸せの為に、外務副大臣としての職責を果たして参る覚悟でございます。

← グラム アンダーソン基地視察



→ F35A配備記念式

「新年を迎えて」



(特攻隊戦没慰霊顕彰会会員)
参議院議員 宇都隆史

特攻隊慰霊顕彰会の会員の皆様、明けましておめでとうございます。航空自衛隊出身、「空翔ぶ参議院議員」こと宇都隆史(うとたかし)です。昨年は公私に渡りご指導ご鞭撻を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、私事ではございますが、二期目の活動もいよいよ折り返し地点が見えてきました。国会においては、国会対策副委員長、兼ねて外交防衛委員会筆頭理事として、議会活動を精力的にこなしております。本年も倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。自衛隊にとって昨年は災害派遣が相次いだ年でもありました。お亡くなりになら


れた皆様には心から哀悼の誠を捧げると共に、被災された皆様に対し衷心よりお見舞いを申し上げます。災害派遣に従事し、真に国民の心に寄り添った活動をされる隊員の姿が放映されるたびに、感動が胸にこみ上げて参ります。また、昨年末には新たな防衛大綱・中期防衛力整備計画が策定されました。私も与党を代表してのワーキングチームのメンバーとして議論をリードして参りましたが、厳しい任務をお願いする政治の立場として、大綱の実現に向けて人員・予算・装備等の「量」の確保に全力で取り組んで参りたく存じます。

さて、この様な国際社会の変化の中、来年度の予算についての大枠が決定されました。本年度に引き続き過去最高額となり、安全保障基盤の構築に全力を傾注する安倍政権の姿勢が、来年度の予算額にも反映されたものと一定の評価をいたします。一方で、新たな防衛大綱に基づく中期防衛力整備計画の初年度としては、いささか中途半端な内容であった感も否めません。新たな領域の「宇宙・サイバー・電子戦」の強化は理解できますが、まずは25大綱で目指していた「あるべき防衛力」の構築を加速化させることに財源を注力すべきだと考えます。特に陸上自衛隊は26中期防の5年間で、創隊以来の改

編事業をまだ半分もやりきっていません。統合機動防衛力の完成を優先しつつ、あらゆる領域に拡大していくのが本来あるべき防衛力整備の順序のはずです。また、新たな事業を展開していくことにより、これまで以上に後方予算(特に維持整備費)が削減の対象となり、装備品の稼働率を更に低下させるようなことがあれば、「真に戦える組織」とは正反対の結果を及ぼします。通常国会冒頭に行われる第2次補正予算・本予算審議の過程の中でも、このような懸案事項に関して、政府に対し厳しい指摘を行い、政治的手当てを講じて参りたいと考えています。

末筆ながら、国際社会において日本が強いるリーダーシップを発揮し、また防衛省・自衛隊が万全の態勢で任務に邁進できるよう、数少ない自衛隊出身の国会議員として、外交・安全保障政策の更なる推進に全身全霊で取り組んで参る所存です。引き続きのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今年一年が我が日本国にとりまして幸多き年となり、国民の皆様が昨年同様安心して暮らせませう、同時に、会員の皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

謹 賀 新 年

<p>航空自衛隊退職者団体 つばさ会</p> <p>会長 外 菌 健一朗 副会長 片岡 晴彦 副会長 溝口 博伸 副会長 戸田 眞一郎 副会長 片山 隆仁 副会長 鹿股 龍一 専務理事 若林 秀男</p>	<p>公益財団法人 水交会</p> <p>会長 斎藤 隆治 副会長 吉川 榮治 理事長 赤星 慶治 専務理事 杉本 正彦 事務局長 長谷川 洋</p>	<p>公益財団法人 偕行社</p> <p>会長 志摩 篤 相談役 富澤 暉 理事長 森 勉 副理事長 深山 明敏 副理事長 熊谷 一猛 副理事長 白石 一郎 専務理事 奥村 快也 事務局長 山越 孝雄</p>
<p>東郷神社 東郷会</p> <p>宮司 福田 勉 名誉会長 東久邇 信彦 会長 友國 八郎 副会長兼理事長 田内 浩 編集長 伊藤 和雄 事務局長 足立 晴夫</p>	<p>公益財団法人 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会</p> <p>会長 島村 宜伸 理事長 柚木 文夫 専務理事 伊藤 隆生 事務局長 国澤 輝生</p>	<p>公益社団法人 隊友会</p> <p>会長 藤縄 祐爾 理事長 先崎 一平 常務理事 増田 好平 常務理事 吉川 榮治 常務理事 片岡 晴彦 常務執行役 久納 雄二 (総務担当) 事務局長 植木 美知男</p>
<p>公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会</p> <p>会長 杉山 蕃 理事長 藤田 幸生 副理事長 岩崎 茂 専務理事 石井 光政 (兼事務局長) 理事 白田 智子 理事 小倉 利之 理事 水町 博勝 理事 鮎田 英一 理事 大穂 園井 理事 岡部 俊哉 監事 阿部 軍喜 監事 羽瀨 徹也</p> 		

平成31年度慰霊行事予定(当顕彰会主催及び他団体主催慰霊祭参加予定)

(9) 第123号

慰霊行事名	期日・場所	主催者名等
① 神雷部隊慰霊祭	3・21(木) 建長寺「神雷戦士の碑」	湘南水交会
② 宮崎県特攻勇士の像奉納式	3 (未定) 宮崎縣護国神社	宮崎縣護国神社
③ 第40回特攻全戦没者慰霊祭	3・30(土) 靖國神社	(公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会
④ 第43回都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭	4・6(土) 都島公園慰霊碑	都城市特別攻撃隊戦没者奉賛会
⑤ 旧海軍鹿屋航空基地特攻隊戦没者追悼式	4・6(土) 小塚丘公園内慰霊塔	鹿屋市
⑥ 第52回徳之島慰霊祭(戦艦大和を旗艦とする第二艦隊戦没者)	4・7(日) 大多布岬慰霊塔	伊仙町慰霊祭実行委員会
⑦ 宮崎特攻基地慰霊祭	4・7(日) 宮崎特攻基地慰霊碑	宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会
⑧ 第59回出水市特攻碑慰霊祭	4・16(火) 特攻碑公園慰霊碑	出水市特攻慰霊碑顕彰会
⑨ 靖國神社春季例大祭(当日祭)	4・21(日) 靖國神社	靖國神社
⑩ 沖縄県特攻勇士の像慰霊祭	4・21(日) 沖縄縣護国神社	沖縄縣護国神社
⑪ 國分基地特攻隊員戦没者慰霊祭	4・22(月) 特攻碑公園内	霧島市
⑫ 第48回萬世特攻慰霊碑慰霊祭	4・28(日) 萬世特攻慰霊碑	南さつま市・萬世慰霊碑奉賛
⑬ 秋田県特別攻撃隊招魂祭	4・29(月) 秋田市川尻惣社神社	招魂祭実行委員会
⑭ 第65回知覧特攻基地戦没者慰霊祭	5・3(祝) 知覧特攻平和観音堂	南九州市・知覧特攻慰霊顕彰会
⑮ 福岡県特攻勇士の像慰霊顕彰祭	5・11(土) 福岡県護国神社	福岡県特攻勇士慰霊顕彰会
⑯ 豫科練戦没者慰霊祭	5・12(日) 特攻殉国の碑	川棚町新谷郷殉国の碑保存会
⑰ 第52回三重海軍航空隊「若櫻の碑」慰霊祭	5・19(日) 若櫻の碑霊園	香良洲神社
⑱ 京都霊山護国神社特攻勇士の像慰霊祭	5・19(日) 京都霊山護国神社	関西日陽遺族会
⑲ 千葉県特攻勇士の像慰霊祭	5・26(日) 千葉縣護国神社	千葉縣護国神社
⑲ 指宿海軍航空基地哀借の碑慰霊追悼式	5・27(月) 指宿海軍航空基地哀借の碑	指宿海軍航空基地哀借の碑顕彰会
⑲ 義烈空挺隊慰霊祭	6・上旬 摩文仁丘義烈空挺隊慰霊碑	全日本空挺同志会沖縄支部
⑲ 大東亜戦争空戦没者合同慰霊祭	7・6(土) 靖國神社	(公財) 大東亜戦争空戦没者慰霊団体協議会
⑲ 山形回天鋪地蔵御霊祭	7・中旬 鋪地蔵尊	鋪地蔵尊奉賛会
⑲ 全国戦没者慰霊大祭	8・15(木) 靖國神社	靖國神社
⑲ 國分第一基地工二塚原特攻隊慰霊祭	9・15(木) 十三塚原海軍特攻碑	霧島高原ビル(株)
⑲ 市ヶ谷台慰霊祭	9月 上旬 市ヶ谷駐屯地メモリアルゾーン	(公財) 借行会
⑲ 高野山慰霊祭	9月 上旬 高野山(空)の碑	全日本空挺同志会
⑲ 第68回特攻平和観音年次法要	9・23(祝) 特攻観音堂	世田谷山観音寺
⑲ 長野県特攻勇士の像慰霊祭	10・10(木) 長野縣護国神社	(公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会

慰霊行事名	期日・場所	主催者名等
①旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式	10・中旬 串良平和公園慰霊塔	鹿屋市
②茨城県特攻勇士の像慰霊祭	10・中旬 茨城県護国神社	茨城県護国神社
③靖国神社秋季例大祭(当日祭)	10・18(金) 靖国神社	靖国神社
④千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭	10・18(金) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
⑤明野忠魂塔慰霊祭	10・19(土) 陸自航空学校明野忠魂塔	明野忠魂塔顕彰会
⑥大東亜戦争戦没全尊徒慰霊祭	10・下旬 靖国神社	大東亜戦争戦没全尊徒慰霊祭実行委員会
⑦神風特別攻撃隊戦没者慰霊祭	10・25(金) 西条市大町檜本神社	神風特別攻撃隊五軍神特攻戦没者奉賛会
⑧神風特攻隊慰霊碑参拝	10・25(金) 比島マバラカト周辺	マバラカト市
⑨大阪護国神社特攻勇士之像慰霊祭	10・下旬 大阪護国神社	大阪特攻勇士之像慰霊顕彰会
⑩埼玉県特攻勇士之像慰霊祭	10・31(木) 埼玉縣護国神社	埼玉縣護国神社
⑪回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式	11・10(日) 大津島・回天慰霊碑	周南市大津島回天顕彰会
⑫若潮の塔慰霊祭	11・23(土) 小豆島富岡八幡神社	若潮の塔奉賛会
⑬三重県特攻勇士の像奉納式	秋 未定 三重縣護国神社	三重縣護国神社

(日時等詳細は顕彰会事務局又は主催団体等にお問合せ下さい。)

事務局からのお知らせ

1 お詫び

会報第122号(11月号)に掲載しました「寄付者御芳名」及び「新入会員名簿」において、お名前の記載漏れ及び誤記がありました。会員の皆様にお詫びを申し上げますと共に、会報第124号(2月号)において改めて該当分を掲載し修正させて頂きます。

2 福山海軍航空隊「特攻々撃法参考」について

事務局では次頁にあるような文書を入手しました。特攻のマニュアルと言うべきものです。同種のものとしては陸軍の「ト號空中勤務必携」が知られていますが、海軍でも作成していたという事は殆ど知られていないと思います。

福山海軍航空隊は水上機専用の部隊で、終戦間際に使用水上機による特攻隊が編成されていますので、本書は特攻出撃に備えて作成されたものと思われま

す。5月号(125号)に内容を掲載しようと考えていますが、第一飛行士金田 秀 氏(海兵73期)について、又は「特攻々撃法参考」について御存じの方は、小さな事でも結構ですので、顕彰会事務局までお知らせ頂ければ幸いです。

〒102-0073

東京都千代田区九段北3-1-1 靖国神社遊就館内

公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会

電話 03-5221-3459

FAX 03-5221-3459

E-mail tokuseniken@tokkotai.or.jp

軍極秘

特攻分撃法參考

福山海軍航空隊

第一飛行士

金

田

秀

金田秀

季節の花



雪の中でも、太陽の光を浴びると、黄金色の花を開く。

日本では、江戸時代から新春を祝う花として親しまれてきた、元旦草ともいう。

「福寿草 黄金花ぐきほのぼのと ふ々ごもる春にあひにけらしも」

尾山篤二郎